

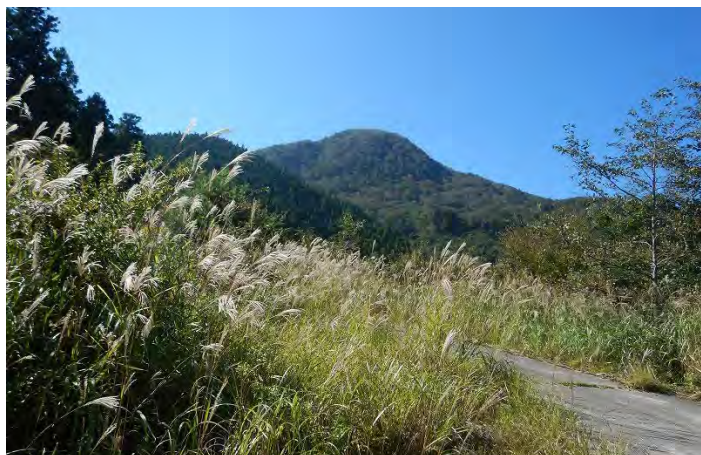
～高丸山の森づくり情報～



遊学の森便り

第 184 号
220930

9月の遊学の森の様子



下旬の高丸山です。台風一過のあとの山は、一気に秋が進んだような気がします



本格紅葉シーズンにはまだ早いのですが、駐車場の植栽木した木々も、色づき始めたような



台風14号と、その後の雨で、普段は枯れている沢に水がどどと音を立てて流れていました



初秋の遊学の森。この時期に森を歩くと、カツラの木のそばではふんわりと甘い香りが漂います



シコクブシが咲く季節です。カブトをかぶったような花の形が特徴です



ゲンノショウコも咲いていました。気温は高くても、植物たちは「秋だよ」と言っています

■森づくり作業・管理レポート

●みんなの森づくり日記 9月1日～9月30日

活動内容	活動日	被害箇所	活動団体	作業内容
獣害被害 防除ネット 修復	9月11日 25日	13カ所 10カ所	かみかつ 里山倶楽部 事務局	森づくり区画の外周に張っている、獣害被害防止ネットの補修状況です。 やはりイノシシがいるようで、ネットの被害が多数ありました。こまめな見回りを行っていきます。 台風14号通過後、見回りをする、ネットをたくさんの落葉落枝がふさいでいました。風の強さがよほどあったのだらうと思います。(写真)
森づくり 活動	9月10日	万年の森		森づくりボランティアの森づくり活動です。スズタケが大変多いところなので、作業は一苦勞です。しかも天気は雨。それでも作業に入られました。戻って来られて話を聞くと、「あまり降らなかったよ」とのこと。お疲れさまでした。



■トピックス

●森林づくりリーダー養成講座を行いました

毎年とくしま森林づくり県民会議が主催している「森林づくりリーダー養成講座」が行われました。千年の森では、森づくり活動と、道具の手入れ方法を学びます。今年はいにくの雨で、山の活動は中止。そのかわりふれあい館で座学と、2つの体験が行われました。座学は、千年の森の森づくりの考え方から、植樹・育林・間伐までの経緯、高丸山でのさまざまな体験活動などを伝えました。また、講師である徳島県森林づくりリーダーの会が行う、山の手入れや炭焼きなど、里山林の活動も紹介されました。

体験は、使用済みの大鎌を3チームに分かれて手砥石で研ぎました。いずれもしっかり研ぎ、すぐに使える道具になりました。安全管理面、効率の良い作業のためにも、道具の手入れは重要です。2つめは、木のキーホルダーづくりです。ひたすら小さな木の断面を紙やすりで磨いていくのですが、奥が深い。出来上がりは肌触りのいいものとなりました。



座学のように、講義のあとには必ず質問があり、熱心な方が多かったです



大鎌を研ぎました。研ぎあがったあと、草を刈ると、スパッと切れました



小さな木を、磨いて磨いて磨きます。やがては蛍光灯が映るくらいになります

●遊学の森などで見かけたもの

秋の遊学の森では、クリが実をつけています。ときどき、道の上にクリのイガが転がっているので、見上げるとその近くにクリがあります。枝先には青いイガが下がっていました。あるところでは、イガとクリの鬼皮がたくさん落ちています。ニホンザル(多分)が器用にイガを剥いて、実を食べたようです。(写真左) 秋の実は、生き物たちのごちそうです。

駐車場までの道では、不思議なものを発見。毛の大きな塊がいくつも転がっています。印象は「犬?」ですが、こんなところで犬をブラシする人はいないし…。やっぱりキツネかなあ(写真右)



千年の森ふれあい館(指定管理者:一般社団法人かみかつ里山倶楽部)

〒771-4502 上勝町旭中村66-1 TEL:0885-44-6680 FAX:0885-44-6681

E-mail:sennennomori@@kkcatv.jp ※本便りは、千年の森HPにフルカラーでアップ中です。